

介護の現場で職員から信頼され、 利用者に必要とされる職員になる為に

(成長しない考え方。後輩に対して悪い見本になってしまう職員)



「誰かがやってくれるはず」

最初は先輩がやってくれます。しかし、仕事を通し「できることを増やす努力」を日々積み重ねていかねばなりません。入社初日に教わった仕事があなたの仕事の全てではないのです。何かを学んだら次の「疑問・分からない事・できない事」がでてきます。それらから何かを学び「できる事」を増やしていく姿勢を持たなければいけません。



「わたしは悪くない」

私の仕事範囲はここまで。いろんな問題が周りで起こっているけど、私には関係ない（ことにしてしまおう）。問題とはなるべく関わらないようにしよう。言われた事だけやっていればいいの。

日々学ぶべき事が周りで起こっています。目を背けるのではなく、自分の出番が来た時にできる準備をしておきましょう。



「周りの人がダメだから私だけ辛い目にあってしまう」

自分のできる事を増やそうとしない人は、自分に期待しないで（変わらないで）、周りの人にだけ期待します。自分勝手な設計図を周りに一方的に押し付けて、イメージ通りに動かない人を犯人扱いします。自分が変わらないので周りの人を変えることはできません。

